

【様式】

## 令和7年度 大野高等学校全日制 学校関係者評価書

(問)

- (1) 学校評価書の成果と課題は適切ですか。
- (2) 成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切ですか。
- (3) スクールポリシーを踏まえた評価となっていますか。

(意見を聞いた方)

令和7年度福井県立大野高等学校「学校関係者評価委員」

- ・PTA役員4名(会長1名、副会長3名)
- ・地域住民代表4名

(意見欄)

### 1 教育課程・学習支援

- ・学習時間を増やすための具体的な方策を、生徒に明確に示していただきたい。
- ・スマートフォンやタブレットの使用については家庭の協力も必要になると思う。
- ・中学校から高校に入ると学習環境が大きく変わるので、学業や学習の重要性をしっかりと伝えていただきたい。

### 2 生徒支援

- ・車による送迎状態の改善のため、PTA健全育成委員会と協力し、啓発活動の継続をお願いしたい。
- ・福井県の高校では、4月から自転車乗車時のヘルメット着用が義務化されるので、初期指導の取組をしっかりとお願いしたい。
- ・担任だけでなく、風紀委員も容儀点検を行っているのは良いことである。

### 3 進路支援

- ・「生徒が進路の目標を決め具体化する」の目標指数が90%目標だが未達成なので、しっかりした目標を持たせるための、具体的な取組をお願いしたい。
- ・大学の多様な入試に対応する進学支援はありがたい。さまざまな進路希望の対応のために、生徒・保護者への進路情報の提供や、就職や専門学校希望者の支援もお願いしたい。

### 4 保健管理

- ・学校生活への不適應やいじめについて、現状を敏速に把握し、対応やフォローを丁寧をお願いしたい。

### 5 図書支援・保護者との連携

- ・紙媒体の読書の指導を継続しているが、読解力や理解力の育成のため電子書籍の活用の現状についても調査をしてみてはどうか。

### 6 探究学習の推進

- ・探究活動を通じて地元に興味を持つ生徒が増えれば良いと思う。

全体(総括)

- ・(PTAより)自分の子供は、当初、他地域への進学を志望していたが、卒業を前に大野高校での高校生活は本当に良かったと言っている。優れた取組がたくさんあるので、それをしっかりアピールして、選ばれる大野高校であり続けて欲しい。
- ・(地元住民より)探究活動などで地元に興味を持たせる機会を積極的に設定して、将来的に多くの人材が地元に戻ってくるような取組を続けていって欲しい。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- 委員会での指摘をふまえ「学校評価書」および「学校関係者評価書」を4月にホームページに掲載する。
- ・各分掌においてさらに検討し、実現するための具体的な取組を考えて令和7年度のスクールプランに反映させる。
- ・教育活動全般において、生徒・保護者および地域から信頼され、選ばれる学校づくりを目指し、教職員一丸となって取り組むとともに、本校の魅力を伝えるための広報活動を行う。